

令和8年度
第1回

多文化共生ボランティア育成研修



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち



彩の国
埼玉県

外国人との コミュニケーション スキルを上げて、 地域で役立てよう

参加
無料

定員150名



令和8年

8月29日(土)

13:30~16:00

埼玉県の外国人数は29万人(令和7年12月末)となり、県の人口に占める割合は4%です。この数字は10年前の倍に近く、国籍および地域の数も160以上にのびます。

近所や商店、学校、職場など、さまざまな場所で、外国人と接する機会が増えています。日本に暮らす外国人の背景を知り、コミュニケーション方法を学ぶことで、多文化共生ボランティアの1歩を踏み出していただく講座です。

研修内容

1 やさしい日本語

有田 玲子氏 [ひらがなネット日本語教育アドバイザー
東京にほんごネット代表]

「やさしい日本語」の基礎と今日から使える話し方のコツ

2 多文化共生理解

田口 ローレンス 吉孝氏 [東海大学 国際学部 特任講師]

多様なルーツを持つ人々と共に生きる社会

3 ボランティア活動紹介

地域のボランティアを募集している団体の活動を紹介します!

※受講後「多文化共生ボランティア」に認定されます。



Zoomウェビナーによる
オンライン配信

※今後の研修予定

第2回 令和8年10月10日(土) 13:30~16:00(オンライン)

第3回 令和8年11月23日(月・祝) 13:30~16:00(ウェスタ川越)

第4回 令和9年1月23日(土) 13:30~16:00(大宮ソニックシティ)

講師等の詳細は、決まり次第県ホームページ等でお知らせします。

お申し込みは
こちら

主催：埼玉県

事務局(県委託事業者)：ひらがなネット株式会社

1 やさしい日本語 有田 玲子 氏

「やさしい日本語」の基礎と 今日から使える話し方のコツ

「やさしい日本語」は、日本語を母語としない人や、こども、高齢者、障害のある人などにも伝わりやすい、優しくて易しい日本語です。分かりやすい講義と楽しいワークをとおして、「やさしい日本語」のコツを身につけます。



有田 玲子氏

- ◆ ひらがなネット日本語教育アドバイザー
- ◆ 東京にほんごネット代表

日本語学校や地域の日本語教室等で日本語教育に従事。「日本語ボランティア養成講座」や自治体等での「やさしい日本語」講座、行政文書の「やさしい日本語」の翻訳・監修などの実績がある。また、文部科学省「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」の制作にも携わっている。

2 多文化共生理解 田口 ローレンス 吉孝 氏

多様なルーツを持つ人々と 共に生きる社会

「マイクロ・アグレッションとはなにか？」を学びながら、さまざまな文化や背景をもつ人とどう関わり合えるかを考えます。身近な事例や専門的な知見を交え、「多文化共生とは？」を一緒に見つめ直しましょう。



田口 ローレンス 吉孝氏

- ◆ 東海大学 国際学部 特任講師

専門は社会学(国際社会学)。いわゆる「ハーフ」や「ミックス」と呼ばれる人々に関する調査や情報発信を行っている。著書『「混血」と「日本人」 ―ハーフ・ダブル・ミックスの社会史』(青土社、2018年)、『「ハーフ」ってなんだろう? あなたと考えるイメージと現実』(平凡社、2021年)。「ハーフ」や海外ルーツの人々の情報共有サイト「HAFU TALK」を共同運営。

③ ボランティア活動紹介 地域のボランティアを募集している団体の活動を紹介します!

※受講後「多文化共生ボランティア」に認定されます。

研修
終了後は
??

「多文化共生ボランティア登録システム」にご登録ください。▶

登録後は、ボランティアの募集やイベント情報をメールでお届けします。研修内でもシステムへの登録をご案内します。ボランティアの募集や研修などの情報は、「埼玉県多文化共生ボランティア」のウェブサイトをご覧ください。



お問い合わせ

お申し込みに関するお問い合わせ

埼玉県多文化共生ボランティア
育成研修事務局 (ひらがなネット株式会社)

☎ 03-6658-5414

✉ tabunka-saitama@hiragana-net.com

[受付時間] 平日9:30~16:00

事業に関するお問い合わせ

埼玉県県民生活部 国際課

☎ 048-830-2714

✉ a2705-11@pref.saitama.lg.jp

[受付時間] 平日8:30~17:15



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

※いただいた個人情報は、当事業運営及び埼玉県県民生活部国際課で行う事後調査アンケートの案内や今後の事業の案内のみに使用し、それ以外の目的には使用しません。

※「多文化共生ボランティア」の認定には、メールアドレスが必要です。 ※未成年の方は、保護者の同意を得て、お申し込みをしてください。